

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	7	学校名	郡山高等学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域の子どもたちとつながろう
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	普通科1年「家庭基礎」(361名)と普通科2年家庭科選択科目「ライフデザイン」(選択者161名)における実習授業として実施した。子どもの発達や遊び、親子の関係について学びを深め、地域の未就園児とその保護者、保育園児、小学生を対象に、交流活動を通してその育ちを応援し、相互に学びあうことを目的とする。
連携・協働相手	大和郡山市、大和郡山市子育て支援課
地域と共有している目標・課題等	地域の活動の活性化、社会全体で子育てを支えることへの気づき、その実践力の養成を目的とする。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>子どもの発達や遊び、親子の関係について学びを深め、11月に大和郡山市の「親子まつり」に参加、12月には大和郡山市子育て支援課の事業である「たんどん広場のクリスマス会」を本校にて開催した。それぞれを生徒たちが企画・運営した。「親子まつり」では、ミニカーを走らせるゲームとボールをゴールに向かって転がすゲームの2種類を準備した。「たんどん広場のクリスマス会」では、マスコットの魚釣りゲームを準備した。それぞれの年齢に応じて、生徒が手助けをしながら楽しめるものを実施した。また、折り紙のコマやプラ板で作ったキーホルダー、ペットボトルマラカス、巾着袋を生徒全員で作製し、子どもたちに配布した。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>生徒たちは、家庭科で学習したことを、子どもたちと触れあう機会を通して実感することができた。対象となる子どもたちに合った内容を検討し、準備した企画が、子どもたちの笑顔につながったことで、大きな達成感を味わうことが出来た。また、イベントの企画や運営を通して、社会と繋がり、子どもたちの育ちを高校生として支援していくことの大切さを学んだ。</p>

